

保健師職能だより

令和6年度 保健師職能委員の紹介と委員長あいさつ



令和6年度 保健師職能委員

職能委員長2年目の中部保健所の武野です。保健師職能は、行政、介護、産業、大学等の各領域での保健師を取り巻く現状や課題を共有し、協会や関係機関との連携を図りながら、役割の拡大と充実を目指しています。特に、少子高齢化が進行する大分県においては、保健師の計画的な確保・定着が喫緊の課題です。更に、2040年を見据え、今後予測される課題の共有や保健師の役割発揮の検討も急務です。そこで、職能委員が一丸となり、保健師ミーティングや研修会等を企画、運営に努めて参ります。是非、皆さまの積極的な御参加と御意見をお願いいたします。

写真上段左より) 東部保健所国東保健部 吉原、坂ノ市地域包括支援センター 副田、津久見市 大鶴、

大分市 上村、大分県看護協会 中宗、

写真下段左より) 豊後高田市 渡邊、佐伯市 輪丸、中部保健所 武野、日田市 石松、

大分県看護協会 加来、豊後大野市 畑 (写真外)



大分県職能別交流集会が開催されました

日時:令和6年9月7日(土)
《保健師参加者》 60名 +オンライン 29名

講演

テーマ: 県民の期待に応える看護を目指して~2040年を見据えた看護のあり方~
講師: 政策研究大学院大学(GRIPS) 教授 小野太一氏

看護職として働く女性は家庭の中でも様々な役割を担うため、多様な働き方を受容しワークライフバランスを取ることが求められる。健康寿命が伸びている中、看護職が自分の意志で働き続けるために、生涯を通して研鑽を積むことができる体制づくりが必要。



分科会 グループワーク「2040年を見据えた保健師活動の改革・発展に向けて

～これからの時代に求められる保健師活動とは～」

分科会では講演の感想や、2040年を見据え取り組みたいことを話し合いました。

講演を通して「将来をイメージして働くかなければと思った」「自分の地域の特性に合わせて事業を進めないといけないと思った」など様々な意見が出ました。

分科会終了後は、新入会員15名のみなさんにお挨拶をいただきました。



令和6年度 県内で働く保健師は855人でした。(R6.4月時点)



総計	市町村	県	健診機関	産業保健 (企業・事業所)	地域包括 支援セン ター	福祉関係	その他			合計
							病院・ 診療所	教育・ 研究機関	その他	
正規	389(391)	129(128)	73(37)	46(41)	56(28)	6(4)	17(49)	11(14)	9(9)	736(701)
嘱託(臨時含)	63(60)	20(22)	6(4)	3(2)	4(8)	4(1)	2(4)	1(2)	16(13)	119(116)
合計	452(451)	149(150)	79(41)	49(43)	60(36)	10(5)	19(53)	12(16)	25(22)	855(817)

参考: 「R6年度保健師・栄養士名簿」(大分県福祉保健部健康政策・感染症対策課)を基に集計。

*地域包括支援センターについては、「R6年度保健師・栄養士名簿」に表記がない大分市の地域包括支援センターの保健師30人も計上。

今後の活動のお知らせ

「看護職連携強化交流会」を開催します!

日 時: 令和6年12月7日(土) 13:00~16:00

テーマ: 県民が安心して暮らせるための、多様な場面での看護連携の強化

～今だからこそ、看護職間の相互理解を深める～(仮)

※締め切り: 11月26日(火)

看護協会への新規入会者を募集しています

(公社)大分県看護協会 ☎097-574-7117